

請願第 17 号

子どもたちが平等に学べる教育環境をつくるための人員の増員に関する請願

1 趣 旨

学校現場では、普通学級において、不登校の子どもたち、外国につながる子どもたち、虐待の疑いのある子どもたち、医療的ケア児等、個々に特別な支援が必要な子どもたちが年々増えてきている。課題が多いコロナ禍において、より手厚い支援が必要である。

現在、小中学校に配置されている職員の数はまだまだ不十分である。(困り感や悩みをもった子どもたちに対応するスクールカウンセラー93人、スクールソーシャルワーカー26人、家庭訪問支援員12人。外国につながる子どもたちに対応する日本語指導者が9人。発達障害等の子どもたちに対応する通級指導担当者74人、特別支援非常勤講師49人。)

支援員の配置等の支援体制は市町の状況によっても異なる。子どもたちのニーズに合った支援が決して十分だとは言えない。全ての子どもたちが安心して学べる教育環境をつくるために、人員を増やし、普通学級における特別な支援を必要とする子どもたちが平等に教育を受けられるような機会が保障されることが必要である。

そこで、下記のとおりに請願する。

記

不登校の子どもたち、外国につながる子どもたち、虐待の疑いのある子どもたち、医療的ケア児等の普通学級における特別な支援を必要とする子どもたちが平等に教育を受けられるよう、教員または支援員を増員してほしい。

2 提 出 者

福井の教育をよくするための県民連合 会長 室田浩和

3 紹 介 議 員

仲倉典克、西畑知佐代、西本恵一、細川かをり

4 受 理 年 月 日

令和2年11月19日